

令和8年度 看護職員の負担軽減及び処遇改善計画

2025年3月26日

独立行政法人地域医療機能推進機構 秋田病院

| 項目 | 目標 | 改善計画 | 備考 |
|-----------|-------------------------------|--|----|
| 看護補助者活用促進 | 看護補助者とのタスクシェアリング/タスクシフティングの強化 | ① 看護補助者の業務マニュアルの見直し (外国人看護補助者業務基準の作成含む:令和8年7月より8名の外国人看護補助者採用予定、ナースエイド学生アルバイトの継続) ② 看護補助者業務チーム(看護師長会・看護部長会)主導で、看護補助者会議開催 ③ 「患者の食べるを支える」ための安全な食事介助、口腔ケアの実施や患者情報共有の強化 ④ 全看護師への看護補助者活用研修 1回/年 | |
| 看護補助者教育体制 | 看護補助者のスキルアップ及び業務拡大 | ①看護補助者への教育計画に基づいた研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 集合研修4回/年 ➢ WEB研修と受講後の確認テストの実施 「医療制度の概要、病院の機能と組織の理解」「倫理の基本」 「チームの一員としての看護補助者業務の理解」 「守秘義務、個人情報保護の基礎知識」「接遇マナーの基本」 「労働安全衛生の基本知識」「感染予防」 業務マニュアル定期見直し後、マニュアルに沿った実技を含めた研修を実施する | |
| 看護職員の雇用 | 看護職員の人員確保 | ① 看護職員の意向調査の実施 ② 近隣看護大学・看護専門学校への訪問 ③ 近隣高校への看護職員(看護師・看護補助者)職員募集案内のための訪問 ④ 中学・高校生への看護職紹介(企業説明会等への参加) 奨学金制度の紹介 ⑤ 当院ホームページによる看護職紹介 ⑥ ハローワークとの情報共有(見学希望者の随時対応) | |
| 業務管理 | 働き続けられる勤務環境整備 | ① 看護協会「看護職のワークライフバランス」「働き方改革関連法」「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」を基に、業務環境を整備:変則性2交代勤務採用、希望者への夜勤免除、育児時間、育児短時間勤務の積極的な活用、病児保育の維持、年休取得7日/年以上、夜勤業務負担の軽減 ② 認定看護師や特定行為研修修了者の獲得と実践推奨 ③ 地域包括ケア病棟及び地域包括医療病棟おける夜間看護師を4名体制へ変更(令和8年6月開始予定) ④ チーム医療(ICT,NST、糖尿病指導、リハビリ等)に積極的に参加し、多職種と連携する ⑤ コメディカルによる業務サポート拡大(造影CT時ライン抜去、患者搬送等) | |